

令和6年度 事業報告書

「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」に基づき、生活衛生関係営業の経営の健全化を通じてその衛生水準の維持向上を図り、併せて利用者又は消費者の利益の擁護を図ることを目的として、次の事業を実施した。

1. 会議開催等事業

理事会等開催 [定款第5章、7章]

年月日	開催場所	種別	議案事項等
6. 5. 15	センター事務所	監査	令和5年度会計監査
6. 6. 3	メリケンパークオリエンタル	理事会	令和5年度事業報告・決算報告、理事長・副理事長及び常務理事の自己職務状況報告、理事辞任に伴う補充にかかる候補者推薦、定例評議員会招集
6. 6. 25	兵庫県中央労働センター	評議員会	議長選出、令和5年度事業報告・決算報告、理事辞任に伴う補充にかかる理事選任、令和6年度事業計画・予算
7. 3. 17	兵庫県中央労働センター	理事会	令和7年度事業計画・予算、資金調達及び設備投資の見込み、理事長・副理事長及び常務理事の自己職務状況報告

2. 関係行政機関・関係団体等連絡調整事業

(1) 関係行政機関並びに関係団体等との連絡調整を図った。[定款第4条7号]

- ・ 新任経営指導員研修会（ZOOM:令和6年4月17日、4月24日、5月15日、5月22日、5月29日、6月10日、6月12日、6月26日）
- ・ 都道府県センター事務局代表者会議（全国生衛会館：令和6年4月26日）
- ・ 新任経営指導員研修会〔集合研修〕（全国生衛会館：令和6年5月8日～10日）
- ・ 近畿ブロック指導センター会議（京都ガーデンパレス:令和6年10月10日～11日）
- ・ 都道府県センター経営指導員研修会（ZOOM:令和6年11月27日、12月4日）
- ・ 都道府県センター事務担当者会議（全国生衛会館:令和6年12月5日～6日）
- ・ 新しい公益法人制度説明会（兵庫県中央労働センター:令和7年1月31日）
- ・ 都道府県センター経営指導員研修会（全国生衛会館:令和7年2月20日～21日）
- ・ 公益法人会計セミナー（アットビジネスセンター PREMIUM 新大阪: 令和7年2月26日）
- ・ 都道府県センター理事長会議（令和7年3月19日）

(2) 生活衛生関係営業に係る情報の収集につとめ、資料の提供を行った。[定款第4条5号]

3. 相談指導事業

生衛業の衛生水準の維持向上、経営の安定を図ることにより、消費者の利益擁護を推進することを目的として相談指導の実施体制を充実するとともに、日本公庫と連携して貸付制度の効果的な活用を促進した。

(1) 中央相談指導事業

① 生活衛生営業相談室設置要綱に基づき相談室を設置し、融資、税務等の窓口相談並びに指導を行った。〔定款第4条1号〕【公1】

対象業種	指 導 件 数 (件数)							合計
	融資	経理	税務	労務	衛生	経営	その他	
理 容	10		6	6	6	50	26	104
クリーニング	1		1	1	1	56	28	88
美 容	95		44	44	44	95	71	393
旅 館	18	1	7	7	7	20	26	86
浴 場	12		2	3	4	48	24	93
興 行	3	1			1	9	5	19
鮎 商	7		2	3	3	63	32	110
社 交	8		4	5	5	37	21	80
麺 類	14	1	6	6	6	63	35	131
食 肉	8		3	3	4	26	14	58
喫 茶	8		2	2	2	19	11	44
料 理	1		1	1	1	17	9	30
飲 食	152	2	62	68	68	142	107	601
食鳥肉						16	10	26
中 華	15	1	6	8	9	33	21	93
氷 雪						4	4	8
合 計	352	6	146	157	161	698	444	1,964

*利用者・消費者の苦情等処理に対する指導を行った。〔定款第4条2号〕

指導件数 4件 (理容1件、クリーニング1件、美容2件)

② 相談指導顧問設置事業〔定款第4条1号〕【公1】

相談指導顧問設置要綱に基づき相談指導業務の充実強化を図るため専門的知識を有する者を相談指導顧問として配置し、原則として月1回の無料法律相談を実施した。(神戸市3回、姫路市2回)

相談件数 5件 (美容1件、浴場1件、食肉1件、飲食2件)

(2) 地区相談指導事業〔定款第4条1号〕【公1】

地区生活衛生営業相談指導事業実施要綱に基づき地域の実情に応じた相談指導を行うため、地区生活衛生営業相談室を開設した。

実施日 令和6年11月19日 場所 日本政策金融公庫豊岡支店会議室

対象業種	相 談 件 数 (件数)							合計
	融資	経理	税務	労務	衛生	経営	その他	
旅 館		1				1	1	3
興 行	1	1			1	1	1	5
麺 類		1				1	1	3
飲 食		1			1	1	1	4
合 計	1	4			2	4	4	15

(3) 巡回相談指導事業〔定款第4条1号〕【公1】

営業所等を巡回し、経営指導員による相談指導を実施した。

対象業種	指 導 件 数 (件数)							合計
	融資	経理	税務	労務	衛生	経営	その他	
理 容						1	1	2
クリーニング	2			3	4	9	9	27
美 容	1			1	6	7	7	22
旅 館					4	4	4	12
浴 場	1	4	3	5	7	13	13	46
興 行	1			2	2	6	6	17
鮪 商		2		2	3	9	9	25
社 交						1	1	2
麵 類	1			2	2	5	5	15
食 肉					1	1	1	3
喫 茶	2			3	6	10	10	31
料 理	1			1	2	3	3	10
飲 食	6			6	6	12	12	42
食鳥肉	1			1	2	6	6	16
中 華	3			3	4	8	8	26
氷 雪	1			2	2	5	5	15
合 計	20	6	3	31	51	100	100	311

(4) 生活衛生関係営業経営改善資金融資等指導事業【公1・他1】

- ① 生活衛生関係営業経営改善資金融資制度に基づき生活衛生関係営業の経営の健全化を促進するため、相談指導を行うと共に関係機関との連携強化を図った。〔定款第4条1号、7号〕

融資申込・相談件数 16件 (クリーニング1件、鮪商1件、社交飲食業1件、食肉2件、飲食業11件)

- ② 生活衛生営業経営特別相談員の新任養成に必要な講習会を開催した。〔定款第4条1号、4号〕

年月日	開 催 場 所	出席人員	内 容
7. 2. 4	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	3人	「特別相談員の役割について」 兵庫県生活衛生営業指導センター 常務理事兼事務局長 柴折浩幸 「生活衛生営業経営改善貸付の取扱について」 日本政策金融公庫神戸支店国民生活事業 融資第三上席課長代理 津村政人 「確定申告のきほん～青色申告での申告や消費税のしくみまで～」 佐藤会計事務所 税理士 下阪琢真 「衛生法規について」 兵庫県保健医療部生活衛生課環境衛生班 班長 森本和徳

- ③ 生活衛生同業組合職員との連絡会議を開催した。〔定款第4条5号、6号〕

年月日	開 催 場 所	出席人員	内 容
6. 9. 4	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	16人	指導センター事業について

④ 生活衛生関係営業の経営改善等にかかる連絡会議を開催した。〔定款第4条1号、4号〕

年月日	開催地	出席人員	業 種	内 容
6. 6. 17	丹波篠山市	5 1 人	理容・美容	「事業譲渡に関する制度改正について」 丹波健康福祉事務所 林 宏美 「個人事業者における確定申告について」 柏原税務署 松島 勇 他
6. 9. 2	加古川市	3 4 人	理容・美容	「守りの集客」 兵庫県理容組合講師 山崎裕史 「理・美容所における衛生対策・衛生法規について」 加古川健康福祉事務所 畑 祥平
6. 9. 2	姫路市	1 6 人	理 容	「全理連 2024 ニューヘア」 県理容組合講師 山内伸也 「公衆衛生」 姫路市保健所 北村以津子
6. 9. 9	加西市	7 0 人	理容・美容	健康落語「笑い=ユーモアと健康」 素人噺家・近畿ブロック障害者スポーツ指導者協議会 会長 天満屋 新笑 「理・美容所における衛生対策・衛生法規について」 加東健康福祉事務所 中須賀 基 「健康寿命を延ばそう」 加東健康福祉事務所 増田風沙
6. 10. 28	明石市	3 5 人	理容・美容	「衛生講習」 あかし保健所 山根香奈 「AED使用法」 明石市消防局
6. 10. 28	西宮市	1 3 人	美 容	「共済保険のご案内」 ジブラルタ生命 松村 「キャッシュレス決済について」 JMS 社員 「衛生管理講習」 西宮市保健所生活衛生課 北村和子
6. 11. 11	神戸市 中央区	5 2 人	理 容	「理容器具の消毒方法」 神戸市東部衛生監視事務所 高橋知草 「特殊詐欺を防ぐ」 生田警察 生活安全第一課 藤田結衣
6. 11. 18	尼崎市	1 4 人	理容・美容	「インボイス制度の概要」 尼崎税務署 檜崎雄三 「生活衛生について」 尼崎市保健所生活衛生課 宮永恵三
6. 11. 25	神戸市 長田区	6 7 人	理 容	「理容器具の消毒方法」 神戸市西部衛生監視事務所 亀井将 「詐欺を防ぐ」 長田警察生活安全課 金山裕一郎
6. 11. 25	西宮市	3 4 人	理 容	「消毒セミナー」 西宮市保健所 北村和子 「税務署説明会」 西宮税務署 職員
合 計		3 8 6 人		

⑤ 「融資のご案内」を作成し、生活衛生貸付について利用者に周知した。〔定款第4条1号、5号〕

一般貸付 2, 0 0 0 枚

公庫融資 2, 0 0 0 枚 DM用 4, 0 0 0 枚

⑥ 相談支援連絡協議会事業等関係機関との連絡会議を開催した。〔定款第4条5号、6号〕

年月日	出席人員	内 容	備 考
6. 10. 17	4 1 人	日本政策金融公庫神戸支店国民生活事業 融資第三上席課長代理 津村政人	専門知識を有する者を講師とする研修会 (経営特別相談員研修会と併せて開催)
7. 1. 29	1 4 人	生活衛生貸付の推進・情報交換	

4. 情報化整備事業〔定款第4条1号、5号〕【公1・法】

生衛業情報化整備事業実施要領に基づき、全国センターと都道府県指導センターをネットワーク化し、適切かつ効率的な経営相談、指導等業務に活用した。

生衛業情報ネットワークシステムの維持管理を行うとともに、ホームページを常に見直して情報を適宜更新して新たな情報を生衛業者、消費者に提供した。

更新回数 2 1 回 指導センターホームページへのアクセス件数 1 0, 8 1 1 件

5. 後継者育成支援事業〔定款第4条1号、4号、6号〕【公1】

(1) 後継者育成打合せ会議開催

年月日	開催場所	出席人員	内 容
6. 5. 28	兵庫県中央労働 センター (神戸市中央区)	6 人	令和5年度後継者育成支援事業実施報告 令和6年度後継者育成支援事業実施計画（実施要領） その他

(2) インターンシップ事業の実施

① 理美容師インターンシップ事業

年月日	開催場所	出席人員	内 容
6. 8. 6	神戸理容美容 専門学校 (神戸市兵庫区)	3 3 人	講師：天井宣希（インフィニート板宿店理容師）、他2名の理容師 ステージ上でモデル（3人）に講師の理容師がカット、セットを施術する様子を、参加者はステージを取り巻き見学した。 その後、参加者は一人ずつウィッグを使い、カットやセットについて体験学習を行った。
6. 8. 26	神戸理容美容 専門学校 (神戸市兵庫区)	3 4 人	講師：清原和哉（㈱ニューヨーク・ニューヨーク 美容師） 他4名の美容師 ステージ上でモデル（8人）に講師の美容師がカット、セットを施術する様子を、参加者はステージを取り巻き見学した。 その後、参加者は一人ずつウィッグを使い、カットやセットについて体験学習を行った。
6. 8. 22	姫路理容美容 専門学校 (姫路市)	1 4 人	講師：下村 尚（同校臨時講師・美容師）他同校卒業生20名 モデル（8人）に講師の美容師がカット、セットを施術する様子を、参加者は周りから見学した。見学に先立っては、参加者は一人ずつウィッグを使い、カットやセットについて体験学習を行っている。
6. 11. 13	県立神出学園 (神戸市西区)	8 人	講師：後藤恵子（姫路理容美容専門学校 教頭） 後藤教頭より、理容師、美容師の免許取得方法、業務内容、体験学習の概要についての説明が行われた。 次に、カットをするときのハサミや櫛の取扱い方、カットの手技の説明とデモンストレーションを受けたあと、ウィッグを使ったカットやセットについての体験学習が行われた。 全員積極的に実技に取組み、充実した体験学習が行われ、理容師、美容師への興味を深めることができた。

② 魅力の蕎麦打ち技術の体験

年月日	開催場所	出席人員	内 容
6. 10. 23	県立但馬農業高等学校 (養父市八鹿町)	2 0 人 生徒 (みのりと食科)	講師：箱崎孝治理事長、井上二郎、片野光詞、三宅 裕 実習に先立ち、井上氏から「そばの話」、箱崎氏から「ご存じですか？HACCP」について講義があった。 その後、実習として、箱崎理事長が蕎麦打ちのデモンストレーションを行い、続いて5班（4人／班）に分かれて、各講師の指導の下、本格的な蕎麦打ち技術及び衛生手技等を実技体験したあと、自分たちが打った蕎麦を試食した。
6. 11. 15	県立有馬高等学校 (三田市)	1 2 人 生徒 (総合学科)	講師：箱崎孝治理事長、片野光詞、山下則子 箱崎理事長が蕎麦打ちのデモンストレーションを見せながら、調理技術、衛生教育、蕎麦についての講義を行った。 続いて、3班（4人／班）に分かれて、各講師の指導の下、本格的な蕎麦打ち技術及び衛生手技等を実技体験したあと、自分たちが打った蕎麦を試食した。

6. 健康・福祉対策推進事業〔定款第4条4号〕【公1】

(1) 感染症対策事業

《感染症拡大防止チラシの周知と消毒薬の配布》

新型コロナウイルス感染症は5類へと移行したが、今後も起こりうる新興感染症の発生や食中毒事故等の予防・対策として、新規営業者に対し、基本である手指消毒の徹底についてチラシを用いて周知を行い、かつ消毒薬を配布することにより、営業施設の衛生水準の確保・向上を図った。

① 配布時期 令和6年4月～令和7年3月

② 配布数 122個

(2) HACCP研修会の開催

年月日	開催場所	出席人員	内 容
6.12.3	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	10人	「HACCPに沿った衛生管理について」 講師 神戸市健康局 食品衛生課長 角村 勉 「飲食店における HACCP の考え方を取り入れた衛生管理」 講師 (株)ティーズフードコンサルタント 代表取締役 高柳竜雄

7. 消費者コールセンター事業〔定款第4条1号、4号、5号〕【公1】

(1) 地域別消費者相談会

年月日	開催場所	出席人員	内 容
6.11.21	赤穂地区体育館 (赤穂市)	延べ 60人	赤穂市及び赤穂市消費者協会が主催する「第48回みんなの生活展」の一ブースで実施。受講生の中からモデルを選んで施術を行うとともに、日々のお手入れ方法等について解説を行った。 講師 兵庫県美容業生活衛生同業組合 副理事長 山田廣美

(2) 消費者コールセンター事業検討会議

苦情状況の現状として、各行政機関、生活衛生営業指導センター、各生活衛生同業組合及び県立消費生活総合センターの担当者を招集しそれぞれへの苦情等について情報交換を行う「消費者コールセンター事業検討会議」については、毎年度2月に開催していたが、令和7年度以降は毎年6月を目途に開催することとし令和6年度は開催を見送った。

8. 分野調整等協議会等事業〔定款第4条1号〕【他2】

分野調整事業協議会設置要領に基づき零細企業である生活衛生関係営業の健全な発展を図り、進出大企業との紛争等を的確に把握し、当事者間の自主的調整の促進等を円滑に実施するため協議会を設置し、分野調整全般にわたって調査検討を要する場合に協議会を開催する。

なお、現在検討課題がないため中止し、問題が発生した場合に再開することとしている。

9. 兵庫県受託事業〔定款第4条1号、5号〕【公1】

兵庫県知事から委託を受け、㈱日本政策金融公庫生活衛生融資の一般貸付に係る推せん事務を実施した。

推せん件数 125件(飲食店営業64件、喫茶店営業2件、理容業6件、美容業44件、旅館ホテル7件、一般公衆浴場1件、サウナ1件)

10. 標準営業約款登録事業〔定款第4条3号〕【公2】

(1) 標準営業約款登録の促進

利用者の選択の利便性を高めるため、標準営業約款登録を促進した。

業 種	区 分	登 録 件 数			期末登録件数
		8月1日	2月1日	合 計	
クリーニング業	クリーニング(新)	一件	4件	4件	72件
	〃(再)	2件	一件	2件	
	取次所(新)	一件	一件	一件	2件
	〃(再)	一件	一件	一件	
理 容 業	(新)	一件	一件	一件	455件
	(再)	11件	9件	20件	
美 容 業	(新)	2件	一件	2件	194件
	(再)	1件	4件	5件	
めん類飲食店営業	(新)	一件	一件	一件	2件
	(再)	一件	一件	一件	
一般飲食店営業	(新)	一件	一件	一件	10件
	(再)	3件	一件	3件	
審査委員会	開催日	6. 7. 12	7. 1. 16	—	—
	出席人員	4人	3人	—	—

(2) 約款PR事業

名 称 等	発行部数等	時 期	備 考
メモ帳	1, 500冊	10月	(全国センターより助成あり)

11. クリーニング師研修等受託事業〔定款第4条1号、4号〕【公3】

兵庫県知事より指定を受けた(公財)全国生活衛生営業指導センターと委託契約を締結し、クリーニング師研修並びにクリーニング業務従事者講習事業を実施した。

(1) クリーニング師研修

年月日	開催場所	出席人員	備 考
6. 7. 11	姫路市市民会館(姫路市)	26人	
6. 7. 21	姫路市市民会館(姫路市)	26人	
6. 7. 30	複合型交流拠点 ウィズあかし(明石市)	26人	
6. 8. 8	豊岡市民会館(豊岡市)	25人	
6. 8. 20	尼崎市総合文化センター(尼崎市)	28人	
6. 9. 12	J A丹波ささやま丹波広域農業研修センター(丹波篠山市)	18人	
6. 10. 20	兵庫県中央労働センター(神戸市中央区)	48人	
合計	7回開催	197人	

(2) クリーニング業務従事者講習

年月日	開催場所	出席人員	備考
6. 8. 27	尼崎市総合文化センター（尼崎市）	28人	
6. 9. 6	複合型交流拠点 ウィズあかし（明石市）	26人	
6. 9. 26	J A 丹波ささやま丹波広域農業研修センター（丹波篠山市）	11人	
6. 11. 12	兵庫県中央労働センター（神戸市中央区）	62人	
合計	4回開催	127人	

(3) 第2型クリーニング業務従事者講習

年月日	講習方法	出席人員	備考
6. 12. 25	通信制	1人	
合計	1回開催	1人	

(4) 打合せ会開催

年月日	開催場所	出席人員	内 容
6. 5. 14	兵庫県中央労働センター （神戸市中央区）	16人	・今年度開催計画の概要 ・5年度までの受講状況 ・研修・従事者講習の受講指導の徹底について ・衛生管理要領の一部改正

*全国センター主催のクリーニング師研修等受講促進会議に参加した。（ZOOM:令和6年4月18日）

12. 生活衛生営業振興事業〔定款第4条1号、2号、4号、5号、6号、7号〕【公4】【他3】

公益財団法人として不特定多数の者の利益の増進に寄与することを目的として定めた「生活衛生営業衛生水準向上・活性化事業実施要綱」に基づき、公衆衛生の向上を目的とした事業、地域社会の健全な発展を目的とした事業、一般消費者の利益の擁護又は増進を目的とした公益事業等を組合と共同又は単独事業として実施した。

(1) 共同事業

年月日	開催場所	出席人員	内 容
6. 6～12 (6. 11. 10)	パピオスあかし2階 あかし市民広場 (明石市)	400人 余	【全料飲】 目的 地域社会の公衆衛生の向上を図り、一般消費者の安心できるくらしの実現に寄与することを目的として、兵庫県で組織する7の飲食業関係組合が連携してフェアを開催し、各組合における衛生確保向上に向けた取り組みを積極的に発信した。 内容 「ひょうご美食のフェア」と題して全料飲加盟7組合がそれぞれ地産の食材を活かした飲食ブースを設け、自慢の味を楽しんでいただくとともに、各組合の取組について周知を図った。 特設ステージでは、「J A Z Zステージ」やフレアバーテンダによる「フレアカクテルショー」を午前と午後には一回ずつ披露し、フェア参加者は400名余と盛況だった。 広報 各団体、消費者等々への案内、ポスター（15枚）及びチラシ（4,000枚）の配布、JR明石駅へのポスターの掲示依頼、神戸新聞での周知依頼を行った。

年月日	開催場所	出席人員	内 容
7. 1. ～3.			【理容】 目的 公衆衛生の向上、地域社会の健全な発展、一般消費者の利益の擁護又は増進を図るため、兵庫県理容生活衛生同業組合 40 支部の各地域で理容業を営む営業者並びに若手技術者を対象として、衛生管理の徹底と技術の向上のための研修会を実施した。 内容 理容業は、人の身体の一部である毛髪及び皮膚に接して施術を行うサービス業であり、利用者だけでなく、従事者の安全のためにも、正しい衛生知識と万全な消毒体制での営業が求められていることから、県下 40 支部から若手技術者を中心に受講者を募集して各部門別に研修会を開催し、技術の向上を図るとともに衛生管理と消毒の徹底指導を実施した。
(7. 3. 10)	神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区)	20 人	講師 周 成榮、小林義和、松原智哉、西関 誠、 下地宏和、河村靖志、吉田隆昭
(7. 3. 24)	神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区)	22 人	講師 周 成榮、小林義和、田中泰平、西関 誠、 松原智哉、河村靖志、吉田隆昭
6. 4～7. 3			【クリーニング】 目的 一般消費者の利益の擁護又は増進を図るため、クリーニング営業者並びに一般消費者を対象にして、クリーニングに関する苦情や事故を未然に防止するために必要な事項、衣類の洗濯表示基準改正に伴う知識等、消費者が安心して利用するために必要な情報を提供するとともに経営の安定化に資する講習会を開催した。 内容
(6. 10. 1)	三宮センタープラザ 西館 (神戸市中央区)	27 人	*クリーニング店の経営に限らず、その他様々な場面において重要である人間関係について、講師自らの経験談を交えながら、理想の人間関係を築いていくためのノウハウを分かりやすく、すぐに実践できる形で説明した。 講義 「心理学に基づく人間関係のノウハウ」 講師 喜多徹人(高等専修学校神戸セミナー理事長・校長)
(6. 12. 1)	三宮センタープラザ 西館 (神戸市中央区)	11 人	*事業や経営における固定費と付加価値である粗利の関係性を戦略会計の図式を使って、利益の構造や損益分岐点について分かりやすく解説した。 講義 「クリーニング業者及び一般消費者のための戦略会計～次世代の付加価値経営とは～」 講師 郷 義徳 (㈱十一屋クリーニング代表取締役)
(7. 1. 14)	㈱白バラドライ 布団工場 (豊岡市)	14 人	*神戸市の 6 倍の広さであるが人口は神戸市の約 20%と非常に少ない兵庫県北部・京都市北部地域を事業エリアとする白バラドライグループが、クリーニング需要の低下に歯止めがかからず、また、少子化により廃校が社会問題となる中、事業再構築補助金を利用し、廃校となった中学校の土地・建物を購入してクリーニング工場とした施設の見学と、事業の概要や同工場取得に至った経緯等についての説明を行った。 講義 「クリーニング工場見学セミナー」 講師 前川敬一 (白バラドライ)

年月日	開催場所	出席人員	内 容
6.4～7.2			【美容業】 目的 美容業の事業の活性化と衛生水準の向上、一般消費者の利益の増進を目的として、高度な技術や知識・情報を有する専門講師を招聘して、県下の美容業者を対象とした講習会を実施し、衛生水準や美容技術の向上を図った。 内容 (6.12. 2) 兵庫区文化センター (神戸市兵庫区) 53人 *組合員及び組合未加入者を対象とし、美容所の衛生水準の維持・向上を図るため保健所職員を講師に迎え、衛生講習会を開催した。通常的美容所としての衛生管理に加え、新型コロナウイルスに対する消毒法や注意点の指導も受けた。 (7. 1.20) 宝塚商工会議所 (宝塚市) 23人 12/2 講師 神戸市生活衛生課 (7. 2. 3) 姫路支部美容会館 (姫路市) 18人 1/20 講師 宝塚健康福祉事務所 (6.11.11) 神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区) 50人 2/3 講師 姫路市保健所衛生課 *事前に組合員全員にテキストを無料で配布し、希望する者には成人式など実生活に役立つヘアと着付けの実技講習会を開催した。 講師 (ヘア)岡村珠美 (着付)森本芳華、林 由美子、井上りり子、坂部めぐみ、沖田佳代、藤井勢津子
6.6.～7.3.			【旅館ホテル】 目的 旅館業が直面している人手不足の問題を解決するためには旅館事業の業務改革と効率化が不可欠であることから、業務のDX化を推進することを目的に専門家による研修を行った。 (7. 3. 4) ほてる ISAGO 神戸 (神戸市中央区) 11人 (9施設) 内容 旅館ホテルにおける「業務のDX化」をテーマに、資料配布の上、プロジェクターを使用しての講義、質疑応答 緑水亭で実際に行われたDX化を軸に具体的な実例による講義 講師：金子憲之 (びわこ緑水亭 社長) 大西屋水翔宛で取り組んでいるDX化についての講義 講師 大西伸弥 (大西屋水翔宛 社長)
6.4～7.1			【公衆浴場業】 目的 公衆浴場事業者のみならず一般事業者にとっても大きな問題である事業承継への対応に資することを目的として、日本政策金融公庫神戸支店の担当者と兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターの講師による事業承継に関する支援内容やその活用方法についての講習とともに銭湯の未来のため事業承継について考え合う会を開催した。 (6.10.11) 兵庫県中央労働センター (神戸市中央区) 30人 内容 銭湯の未来・事業承継について考え合う 第一部「事業承継の様々な方法や公庫としての支援」 講師 日本政策金融-公庫3氏 第二部「支援センターの活用方法」 講師 兵庫県事業承継事業引継ぎ支援センター
6.4～7.2			【鮓商】 目的 日本の食文化の一つとして鮓は広く人々に愛され、今日様々な形態で提供されており、一般消費者の方々に伝統的な寿司文化と寿司の魅力について知ってもらい、板前鮓職人等により地産地消の食材を使ったお寿司を提供し、各地域に根ざす寿司店が親しく身近なものとなるように働きかけ、さらに安全安心な公衆衛生向上を目指した。

年月日	開催場所	出席人員	内 容
(7. 2. 25)	兵庫県立神出学園 (神戸市西区)	45人 (学園生・職員・保護者)	内容 板前鮎職人による握り寿司の体験教室、試食 講師 貝塚一夫、山中勉、石原清和、奥谷康弘、 岡本博幸 補助 新谷建士
6. 11～12			【社交飲食業】 目的 飲食店営業（社交飲食）の衛生水準の向上と地域社会の健全な発展に寄与することを目的に、一般消費者を対象にして、専門家であるバーテンダーや調理人が、簡素な食材を使った料理の衛生的な調理を実践・指導しながら酒やおつまみの提供を行った。
(6. 12. 14)	赤穂城跡 (赤穂市)	延べ 40 ～50人	内容 土曜日で好天にも恵まれ、地元の市民及び他県の家族連れが多く参加した赤穂市最大のイベント赤穂義士祭において、専門家である調理人及びバーテンダーが、簡単に出来るお酒のおつまみの衛生的な調理方法を指導、実演し、各種の酒と一緒に提供した。 指導講師 木村義久（日本バーテンダー協会関西本部長・SAVOY KITANOZAKA経営） 湯川 寛（割烹料理 いずも亭経営）
6. 4～11			【麺類食堂業】 目的 「そばは元気な健康食」と言われるように、安全安心な食品であるお蕎麦の魅力を広く県民にアピールし、地域社会の健全な発展と消費者サービスの向上に寄与することを目的に、一般消費者対象にした「手打ちそば講習会」を実施した。
(6. 11. 13)	山野里地区公民館 (赤穂郡上郡町)	14人	内容＊「手打ちそば講習会」 講師 箱崎孝治、川戸 務、山下則子 他組合員3名
(6. 11. 27)	赤穂市立中央公民館 (赤穂市)	30人	＊「手打ちそば講習会」 講師 箱崎孝治、井上二郎、岩本正彦、山下則子 他組合員2名
6. 7～7. 1			【食肉】 目的 食肉衛生知識の普及促進、食育の推進を図り、公衆衛生の向上と地域社会の健全な発展に寄与することを目的として、一般消費者を対象に、家畜の生産から食肉の処理加工、消費に至る生産・流通過程における衛生対策や地域の食肉文化等についての講習を行った。
(6. 10. 25)	播磨生活創造センターかこむ／ 創作工房A・B／ 調理室 (加古川市)	15人	内容 ＊お肉の調理実習・試食 講師 和牛うらい 店長 川村将紀 講師の先生から、お肉を使った調理の実技を受講するとともに加古川の食肉の歴史や食材の調理方法について説明を受けた。また、出来上がった料理を試食した。 ＊「お肉の衛生管理 安全・安心の取り組み」 講師 兵庫県食肉衛生検査センター安全対策課 主任飯島茉莉 「お肉が食卓まで届くまで」のDVDを見た後に、食肉の衛生管理と流通過程でお肉が安全に管理され食卓まで届くのか、またトレーサビリティ法による管理方法などスライドを使用して講義を聞き学習した。 ＊「肉のまち加古川について学ぼう」 講師 兵庫県食肉生活衛生同業組合 加古川支部 平井雄一郎／川村将紀 肉のまち加古川の食肉に関する歴史や毎年秋に行われる

年月日	開催場所	出席人員	内 容
			イベント『ジャパン・ビーフ・フェスティバル in 加古川』についてスライドや動画を交えながら講義を聞き、地域の食肉文化についての理解を深めた。 ＊行政・食肉業界・調理講師・消費者との意見交換 講義を振り返り、質疑応答の中で食肉の衛生管理や公衆衛生の知識を深め、食肉の安全・安心のための普及啓発を図った。アンケートは、次年度の事業計画や事業内容に反映させる。
6. 6～10 (6. 10. 21)	神戸たん熊 (神戸市中央区)	3 6 人	【料理業】 目的 生産者と消費者の関わりを深めるとともに、地元の食材を消費することが運搬により発生する CO2 の削減に繋がり SDG s においても大きな意味が有る事を伝えることによって、地産地消への興味を高め、事業者と一般消費者お互いの利益増進に寄与することを目的として、一般消費者を対象に地元食材を生産・養殖をされてる方を迎えて「地元食材の新しい活用法」などの講習会を開催した。 内容 「地元食材の新しい活用法」をテーマとして、神戸産の野菜と水産物の進化や調理方法の研究をメインに講習会を開催し、組合員をはじめ、多くの一般消費者の方々にも参加をして頂き、実り多き事業となった。 講師 農業経営士/炭育ち 池上農園代表 池上義貴 神戸元気サーモン 東須磨サーモン部会 奥谷知生 すまうら水産有限責任事業組合 取締役代表 若林 良
6. 5～7 (6. 5. 21)	神戸メリケンパークオリエンタルホテル (神戸市中央区)	5 4 人	【飲食業】 目的 最近の原材料費、光熱費等の高騰により厳しい経営状況におかれた組合員が、後継者がいないために廃業するという現況を打開し、兵庫県の飲食店が継続していくことを目的に、中小企業診断士による「事業承継」について講演を開催した。 講演 「小さな店の売上アップ大作戦と早めに考えたい事業承継」～今日からできる「客数」と「客単価」アップのヒントと事業の承継を考える～ 講師 中小企業診断士 小川雅弘
6. 11～7. 3 (7. 2. 17) (7. 3. 6)	良友酒家 (神戸市中央区) 群愛飯店本店 (神戸市中央区)	実演 1 7 人 見学 6 人 試食 2 3 人 実演 2 0 人 見学 9 人 試食 2 9 人	【中華料理業】 目的 一般消費者を対象にして中華料理の専門家が家庭で出来る中華料理を指導して、実演・試食会を行って消費者に新たな中華料理を紹介する他、講習会を併せ実施し、中華料理の薬膳、医食同源などの中華料理の文化、歴史、衛生確保などの食育を推進して消費者利益の擁護と公衆衛生の向上に寄与した。ダイレクトメール:郵送、FAX、Eメール等で発信 講師 潘 正良・助手 施 文雄 講師 施 蓮華・助手 坂田一城

(2) 企画運営委員会の開催

生活衛生営業振興事業を適正かつ円滑に推進するために、「企画運営委員会」を設置し、事業計画の企画運営にかかる審査及び助言することにより、生活衛生営業の振興を図った。

年月日	開催場所	出席人員	会議内容
6. 5. 21	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	11人	令和5年度生活衛生営業振興事業の報告
7. 2. 10	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	12人	令和7年度生活衛生営業振興事業の計画

13. 全国生活衛生営業指導センター受託事業〔定款第4条1号、5号〕

(公財)全国生活衛生営業指導センターの委託を受けて次の事業を実施した。

(1) 景気動向等調査【他4】

生衛業界の景気動向、設備投資動向等を定期的に把握するとともに、生衛業者の景況感や地域実情等の定性的な把握に努め、日本公庫の今後の業務運営に資した。

	理	ク	美	旅	浴	興	鮭	社	麺	肉	喫	料	飲	鳥	中	氷	計
1回目	5	7	6	2	6	1	7	4	7	3	2	2	9	3	3	1	68
2回目	5	6	7	2	6	1	7	4	7	3	2	2	9	3	3	1	68
3回目	5	7	7	1	6	1	7	4	7	3	2	2	9	2	3	1	67
4回目	5	7	7	2	6	1	7	4	7	2	2	2	9	2	3	1	67
合計	20	27	27	7	24	4	28	16	28	11	8	8	36	10	12	4	270

(2) 経営状況調査【他4】

生衛業の経営状況を把握するため訪問調査等を実施した。調査結果は(公財)全国生活衛生営業指導センターにおいて今後の経営指導方針に活用され、また情報を公開した。

	理	ク	美	旅	浴	興	鮭	社	麺	肉	喫	料	飲	鳥	中	計
1回目	6	7	6	1	5	1	8	4	7	3	2	2	9	2	3	66
2回目	6	7	6	2	5	1	8	4	7	3	2	2	9	2	3	67
3回目	6	7	6	1	5	1	8	4	7	3	2	2	9	1	3	65
4回目	6	7	6	1	5	1	8	4	7	3	2	2	9	1	3	65
合計	24	28	24	5	20	4	32	16	28	12	8	8	36	6	12	263

1回目については、併せて特別調査を実施した。

(3) 生衛業受動喫煙防止対策事業【法】

「健康増進法の一部を改正する法律」の趣旨に鑑み、生活衛生関係営業者がその事業場において実施する望まない受動喫煙の防止を図るうえで講ずるべき措置を支援するための生衛業者への受動喫煙防止対策を推進した。

(4) 生衛業デジタル化推進・支援体制開発・効果検証事業【公1】

生活衛生関係営業のデジタル化推進及び地域デジタル相談員の資質向上に向けた研修等の実施及び効果検証等事業において研修会や実店舗研修の実施に協力した。

① 担当者意見交換会への参加 (ZOOM:令和6年7月23日)

② 地域デジタル相談員研修会

地域の生衛業者のデジタル化に関する経営指導等を担う「地域デジタル相談員」のさらなる資質の向上を目的にNTTデータ経営研究所が開催する「地域デジタル相談員の資質向上理論研修会」を受講した。

受講者 経営指導員他 4名 令和6年8月～令和7年3月

③ 実店舗研修の実施

・実店舗研修協力先の選定

営業者 蓬莱湯(尼崎市) 稲 里美

・実店舗研修 (令和6年9月20日・10月21日・11月14日・12月17日
・令和7年1月9日)

・実店舗研修アドバイザー (専門家) ADU株式会社 代表取締役 宇田名保美

・最終報告書シートの提出(令和7年2月10日報告)

実店舗研修の実施にあたって、取組を実施するごとに経営研究所提供のワークシートを作成し報告した。また、全研修をした後に面談振り返りシートを作成し、最終報告シートを報告した。

④ デジタル化推進・支援体制開発・効果検証事業成果発表会

主催するNTTデータ経営研究所より要請があり、蓬莱湯の取組内容を事例として経営指導員が発表した。(東京都千代田区・砂防会館:令和7年3月13日)

14. 全国生活衛生営業指導センター事業協力 (全国センター経費負担)

(1) 経営特別相談員指導事業〔定款第4条1号、4号〕【公1】

経営特別相談員の経営指導上に必要な知識の充実と資質の向上を図るため次の研修会を開催した。

年月日	開催場所	出席人員	内容
6.10.17	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	41人	「特相員の活動と、衛経貸付の活用等について」 指導センター経営指導員 古川隆三 「生活衛生貸付の現状と衛経推薦上の留意点」 日本政策金融公庫神戸支店国民生活事業 融資第三上席課長代理 津村政人 「生衛業における電子帳簿保存法の留意点について」 税理士法人佐藤会計事務所 税理士 下阪琢真 「事業承継・引継ぎ支援の事例等について」 兵庫県事業承継・引継ぎ支援センター エリアコーディネーター 伊藤勢津子 「生衛ナビの活用について」 指導センター経営指導員 吉田博之

(2) 衛生水準の確保・向上事業〔定款第4条1号、5号〕【他3】

① 衛生水準の確保・向上推進会議

年月日	開催場所	出席人員	内 容
6. 8. 19	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	25人	第1回会議 ・推進会議開催の主旨について ・令和6年度行動計画について ・公庫融資の状況等
7. 2. 14	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	23人	第2回会議 ・令和6年度事業報告 ・生活衛生関係営業施設に関する報告 ・生活衛生同業組合に関するアンケート調査 ・公庫融資の状況等

② 広報・啓発事業 令和6年10月～令和7年2月

- ＊ 全国センター作成の「生衛業と生衛組合の啓発チラシ」及び「組合加入勧奨チラシ」等を、各生衛組合、各行政機関及び公庫等に配布し、各機関において広報、啓発活動を行った。
- ＊ 県下の令和5年度新規開業店舗に対し、組合加入勧奨のダイレクトメールを実施した。
3, 828件
- ＊ 県指導センターホームページを活用し、推進月間等について広報活動を実施した。

③ 新規営業許可届出施設等の情報の入手・提供 令和6年7月～11月

- ＊ 令和5年度分の新規営業許可業者名簿(50, 000件)を入手し、業種別の3, 829件に整理した。
- ＊ 同名簿を組合加入勧奨の基礎資料として、県下の生衛組合に情報提供した。

④ 衛生水準の確保・向上事業担当者会議への出席

- 開催日 令和6年5月16日 ZOOM会議
- 開催日 令和6年5月28日 ZOOM会議
- 開催日 令和6年6月6日 ZOOM会議
- 開催日 令和6年6月18日 ZOOM会議
- 開催日 令和6年7月3日～4日 場所 全国生衛会館（東京都港区）

(3) 生活衛生関係営業経営支援緊急対策事業〔定款第4条1号、5号、6号〕【公1】

生衛業者からの幅広い相談等にワンストップで対応する伴走型の支援を行う専門相談窓口の開設等や情報提供及び支援ニーズの把握等を通じ、事業継続や経営再建に取り組む生衛業者及び生衛業界を早期に再生軌道に導く緊急支援を実施した。

期間 令和6年5月～12月

相談・指導対応件数 64件

チラシ作成配布 8, 000枚

経営支援緊急対策事業担当者意見交換会（令和6年3月18日 ZOOM会議）